



R.I. 第 2630 地区 **高山中央ロータリークラブ**
WEEKLY REPORT

2008 ~ 2009 年度 高山中央 RC 会長テーマ 「ひとつの心で」

会長 三枝 祥一 幹事 足立 常孝 会報委員長 津田 久嗣 会報担当 長瀬 栄二郎

創立 1991 年 5 月 20 日

事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

例会日 毎週月曜日 PM12:30 ~

ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 789 回	48 名	42 名	30 名	-	71.43%
前々回 787 回	46 名	42 名	35 名	1 名	88.10%

<点 鐘> 会長 三枝 祥一
 <ソング> それこそロータリー
 <ビジター & ゲスト紹介>
 ビー・ダンススクール主催
 白木 邦子 様

<会長の時間> 会長 三枝 祥一
 防災ラジオについて



高山市では、平成 16 年の災害の後、屋外の緊急時放送のシステムでは、屋内にいては、まったく聞こえないなどの苦情が寄せられ、市民への災害時の連絡が緊急課題となっていました。一時、銀行協会などの協力で、無料で FM ラジオを配りましたが、感度が悪くまったく利用価値の無いものでした。そこで、高山市では防災ラジオ送信設備工事を実施し、ヒッツ FM 可聴範囲が市域全体に広がりましたので、電源を切っただけでも緊急時や地域の重要行事の伝達時などに、自動で知らせることができる防災ラジオ「ヒッツ FM 自動起動防災ラジオ(仮称)」を 4 月より使えるように体制を整えているところだそうです。しかしながら、利用料が月額 200 円程度かかることや、市民への周知徹底などまだまだ課題も多そうです。

<幹事報告> 副幹事 岩垣津 巨

国際ロータリー第 2630 地区ガバナーより

・お詫びとお願い

(マラウイ蚊張募金の報告と御礼・オーストラリア火災見舞の件・識字率向上月間周知の件・パーミンガム国際大会参加のお願い)

・ロータリーワールド紙

・国際ロータリー理事指名委員会の報告

・第 100 回世界大会資料

ロータリー米山記念奨学会より

・ハイライトよねやま 109

<高山市民憲章推進協議会より>

・高山市民憲章実践及び推進者表彰の被表彰者推薦のお願い

<飛騨高山国際協会より>

・平成 21 年度飛騨高山国際協会実務者連絡協議会の開催のご案内

日時：4 月 9 日(木) 13:00 ~

場所：高山市役所 4 階会議室

<本日のプログラム>
 プログラム委員長

今井 俊治

こんばんは。今日は夜の移動例会ということで、ここ「スペース」にて、ビー・ダンススクールを開講しておられる白木邦子様にご講師をお願い致しました。今夜は、皆様にヒップホップに合わせて身体を動かしていただきたいと思っております。



<講師> 白木 邦子 様
脱メタボ～ヒップホップ入門

皆様こんばんは。今回は「脱メタボ～ヒップホップ入門」ということで、一緒に身体を動かしたいと思います。

まずは軽くストレッチから・・・



身体が柔らかくなったところで、続けてステップの練習。
サイドステップ・ボックスなどの基本ステップを踏み、
リズムに合わせてクラップ（胸の前で拍手）を入れる。
全員、足でリズムを刻みながら、最後はヒップホップの
音楽に合わせて、通してステップを踏みました。

